

12

DECEMBER
2014



ECOファースト
STAFF



こ が
古河

広
報

No.111

今月の主な内容

- 秋のイベントカメラルポ 2
- 古河・大野市民交流 4
- 地球温暖化防止月間 6
- 障がい者福祉サービス 8



1



2



さんさんまつり

4

祭りの秋 まなびの秋

写真で振り返る
2014 秋のイベント
(後編)

10月26日、三和健康ふれあいスポーツセンター前広場で「第1回さんさんまつり」が行われました。これまでの「三和産業祭」と「さんさんまつり」が一つになって初めての開催。新名称は全国330件の応募の中から、親しみのある「さんさんまつり」に決定。たくさんのステージイベントや模擬店が出店され、お囃子の演奏や神輿、山車がにぎやかに練り歩きました。【写真①～④】

10月27日から11月23日までネーブルパークを会場に開催された「第9回古河菊まつり」。菊愛好家や市内保育園児等が丹精込めて育てた約1,300鉢が展示されました。日曜日・祝日には菊むすめが来場者を笑顔でお出迎え。黄・ピンク・白など色鮮やかに咲き誇る「盆養」や「懸崖」、「千輪咲き」など豪華な菊花の前で立ち止まって見入る姿が多くみられました。【写真⑤～⑧】



古河菊まつり

5



6



7



8



9 古河よかんべまつり



10



11



12

11月1日・2日の2日間、古河総合公園で「古河よかんべまつり」が開催されました。当日はさまざまな団体の店が軒を連ね、会場を彩っていました。初日はあいにくの雨でしたが、天候に恵まれた2日目は、ヒーロー戦隊のショーやヒップホップジャズダンスが行われ、最後の「桑田研究会バンド」の演奏では華むすめや「ゆきとのくん」も一緒に踊り、会場を盛り上げました。【写真⑨～⑫】

11月8日に「第17回青少年のための科学の祭典古河大会」と「ECOフェスタ古河 2014」が中央運動公園で同時開催されました。簡単に遊びながら科学を学べる実験や手作りロケットの打ち上げ、環境問題を考える展示、リサイクルに出す前の家庭ゴミを使った科学マジックなど、子どもから大人まで科学とECOを満喫したイベントになりました。【写真⑭～⑯⑰は科学の祭典、⑳㉑はECOフェスタ】

科学の祭典 & ECOフェスタ



13



14

15



16



17

18



歴史が取り持つ縁で古河市と姉妹都市を結んでいる福井県大野市は平成26年7月1日に市制施行60周年を迎えました。これを記念して、古河市と大野市との市民交流事業が行われました。両市の友好の絆を深め、さらに市民交流を活発にしていきたいことを目的としています。

10月25日から27日まで、菅谷市長や渡邊議長、一般公募の市民を含め42人が大野市を訪問。大野市のブランドキャッチコピー『結の故郷 越前おおの』にふさわしい、温もりのある「結の心のおもてなし」で古河市民を迎えていただきました。



**人を結び、時を結び、地域を結ぶ
市民交流をすすめていきます**



大野市はこんなところ

大野市は人口約3万6,000人。福井県東部に位置し、福井県の5分の1の面積(872.30平方キロメートル。古河市の約7倍)を占めています。

日本百名山の「荒島岳」をはじめ、山々に囲まれたこの地は雪どけ水が豊富で、市内のいたるところに湧き水があります。かつて城主の御用水として使われていた「御清水」など、昔から市民生活にとって大切な財産となっています。

両市の歴史的なつながり

古河藩主・土井利勝の四男、利房が^{おおの}大野藩の藩主となったことから、平成2(1990)年に大野市と旧古河市が姉妹都市盟約を締結。平成18(2006)年に新「古河市」と締結しました。



④

- ①織田信長の家臣・金森長近が天正4(1576)年に築いた「越前大野城」。大野市のシンボル。
- ②歴史的風情が残る「寺町通り」。
- ③400年以上も続く大野の名物朝市「七間朝市」。
- ④越前大野城のふもとにある観光拠点「越前おおの結ステーション」で記念撮影。



笑顔あふれる ふれあいの旅

2泊3日の行程で行われた「古河・大野市民交流事業」。参加者は10月25日早朝、古河駅を出発し、大野市へ到着したのは午後3時。大野市長をはじめ多くの人たちが出迎えてくれました。その後、標高249メートルの亀山山頂にある越前大野城へ登城。そこから大野の町並みと白山連峰などの風景を楽しみました。

翌26日は、ボランティアガイドの案内で市内名所巡り。三大朝市物産まつりの会場では、名産の里芋や地酒、丁稚ようかんなど買い物を楽しむ姿が見られました。そのほか、地元産のそば粉を使ったそば打ち体験や、国内に数カ所しかない貴重な魚「イトヨ」の生息地で湧水文化を学びました。

平成27年度は大野市の皆さんが古河市を訪問し、市民交流を予定しています。

味噌ベースに味付けしたホルモン料理でまちおこしをしている「越前おおの とんちゃんを愛でる会」のメンバー。「古河の皆さんにも、とんちゃんの味をぜひ食べていただきたい」



北陸の小京都と呼ばれるまちなかを案内するおもてなしの達人、観光ボランティアガイドのひろさん。「親戚と呼べるような古河の皆さんが遠くから訪ねてきてくれるのは、大変うれしいですね」

ミニ太鼓キーホルダーの制作指導や、オリジナル打楽器「パコーン」の演奏を披露してくれた山内さん。「叩いたときのパコーンという高い音が特徴的。みんなで合奏すると一体感が生まれます」



友好の絆



「大野市の歴史・自然にふれ、食を味わい、いろいろな発見がありました。市民同士の交流が図れたのもよかったですね」
(田続明さん・昌子さん、上辺見)



「越前大野城へ登城できてよかったです。名産の里芋料理もおいしかったですね。来年、大野市の皆さんがおいでになったときには、何かお手伝いしたいと思っています」
(大谷千代子さん・大山)

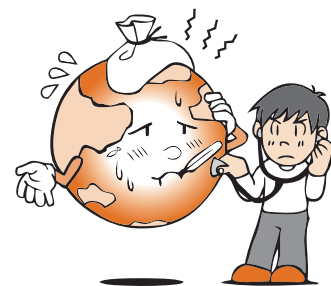
12月は「地球温暖化防止月間」です

～次世代を担う青少年と考える地球温暖化～

地球温暖化の影響による台風の多発、巨大化などの異常気象が指摘されています。将来の地球温暖化の影響を少なくするためには、次世代を担う青少年の地球温暖化問題への正しい理解と将来に渡る実践が欠かせません。このような考えのもと、古河中央ロータリークラブ(会長：宇都木寛次氏)主催で、古河第一中学校の生徒を対象として夏休み期間中に学習会が開催されました。

地球温暖化問題の現状を知り「中学生である自分たちに何ができるか」と真剣な議論を展開した中学生。私たち自身の地球温暖化防止活動へ向けたヒントがありました。

【問】環境課(三和庁舎) ☎76-1511



温暖化で地球が悲鳴をあげています

学習会は「次世代を担う青少年と環境問題を学ぶ」をテーマに、8月21日に古河第一中学校で行われました。

まず、同校卒業生でNPO法人環境文明21の加藤三郎共同代表から、地球温暖化の今後の見通しや影響について話がありました。

「過去130年間で地球の陸上の平均気温は0.85℃、日本では約1℃上昇した。1℃では大した影響など出ないと思うかもしれない。しかし、日本はもとより、世界各地で異常気象が多発している」と、地球温暖化問題の影響で起こっている現象を説明。また、「地球温暖化による影響を軽減するためには、日本を含む先進国では80%程度の二酸化炭素の削減が必要となる。これらの対策には、これまで以上に省エネや植林、太陽光などの再生可能エネルギーの導入が必要。このほか、将来の温暖化による異常気象や海面上昇、健康被害に備えた対策を今から講じていくことも必要」といった加藤先生の話に、中学生は真剣な表情で聴き入っていました。



▲地球規模で進む温暖化問題を説明する加藤先生



▲加藤先生の話は地球温暖化の現状や危機感が伝わります



中学生でも、できることがあります 未来を担うのは私たち一人ひとりです

学習会後半は、同団体・藤村コノエ共同代表が担当し、中学生自身が地球温暖化問題を考えるためのワークショップ(参加型学習会)を実施。「このまま温暖化が進むと古河ではどのような影響が出るのか」「温暖化防止のために中学生ができること」など、テーマに沿いグループに分かれて話し合いを行いました。

前半の講義から真剣モードの生徒たちからは「言葉では聞いていた地球温暖化問題。今日は加藤先生の話が聴けて、中学生ができることもみんなで話し合えた。さっそく家や学校で実践したい」「近い将来、私たちが日本を支えていく世代になる。もっと真剣に取り組まなければならないと感じた」といった感想が聞こえました。

吸収力の早い生徒たちには、さっそく効果が出ているようです。講義、ワークショップを通じて地球温暖化について正しく理解をし、問題の解決や、緩和に向けた対策を話し合いました。あとは実践、一番大切なところです。

私たちが地球温暖化防止に向け、節電対策やごみ減量化、エコドライブなどを行っていくうえで、地球温暖化問題について正しく知ることがまず大切だとあらためて実感します。青木教頭先生からも「これからは実践です。日々の生活での温暖化防止をこれからの長い人生で実践していってくれることを期待しています」という話をいただきました。



▲ワークショップでは藤村先生(写真右)が中学生にアドバイス。一人ひとりのアイデアを発表しました



胸をはって次世代へつなぎたい 「青い地球」を

中学生のコメントにあるように、学習会をきっかけに、これまで以上に地球温暖化防止を意識した生活を家庭や学校で実践できていることがうかがえます。

学習会を主催した古河中央ロータリークラブの皆さんからも「中学生たちが熱心に議論しているのを見て、若いうちからの環境教育が大切だと再確認しました。私たちもこれまで以上に実践せねばとあらためて実感しました。相乗効果ですね」という感想をいただきました。

地球温暖化は私たちの次世代にまで影響を及ぼす問題です。12月は「地球温暖化防止月間」。次の時代を担う若い世代とともに家庭や学校、職場で何ができるかを考え、実践しましょう。



障がいのある人の日常生活を応援します

市では、障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、さまざまな生活支援を行っています。

【問】障がい福祉課(総和福祉センター「健康の駅」内)

☎92-4919 FAX92-5544



病院にかかるときの費用の一部を助成します

○精神通院医療費

対象 精神障がいのある人

内容 通院治療するときに、治療費の一部を助成します

費用 原則1割負担、所得により負担上限あり

○更生医療費

対象 身体障害者手帳を所持している人

内容 障がいの更生のために治療・手術を受けるとき、治療費の一部を助成します

費用 原則1割負担、所得により負担上限あり

○育成医療費(申請窓口は障がい福祉課のみ)

対象 18歳未満で身体に障がいや病気があり、放置すると将来身体に障がいが残る可能性があるが、手術等の治療で生活能力の改善が期待できる人

内容 治療費の一部を助成します

費用 原則1割負担、所得により負担上限あり

○タクシー利用料金

対象 身体障害者手帳3級以上、視覚障害4級または下肢障害4級以上、療育手帳①・A、精神保健福祉手帳2級以上を所持している人

内容 通院や機能回復訓練施設へ通所したとき、タクシー料金の一部を助成します

費用 タクシー料金の半額(1カ月上限6,000円)を助成します

※自動車税、軽自動車税の減免を受けている人は対象外。

○歯科治療施設通院

対象 身体障害者手帳(肢体不自由)1級、2級、療育手帳①・Aを所持している人

内容 歯科治療のために自宅から20km以上の距離のある歯科治療施設に通院した場合、交通費の一部を助成します

費用 月2回まで交通費を助成します(1回1,000円)

補装具の製作費・修理費の助成

対象 身体障害者手帳を所持している人、難病患者等

種類 盲人用安全杖^{つえ}、義肢、車椅子^{いす}、補聴器など

費用 原則1割負担、所得により負担上限あり

日常生活用具の購入費の助成

対象 身体障害者手帳、療育手帳を所持している人、難病患者等

種類 入浴補助用具、拡大読書器、情報受信装置、特殊寝台、ストマ用装具など

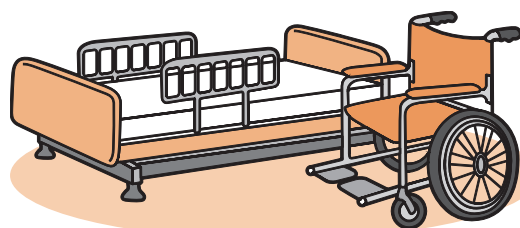
費用 原則1割負担、所得により負担上限あり

手話通訳者等を派遣します

対象 聴覚障害、音声・言語機能に障がいのある人

種類 病院や学校、各種相談に行くときに、手話通訳者や要約筆記者を派遣します

費用 無料



手当を支給します

○特別児童扶養手当

次のいずれかに該当する20歳未満の障がい児を家庭で養育している保護者は、申請により手当を受けることができます。

対象 身体障害者手帳のおおむね1級～3級、または療育手帳④・A・B程度の障がいのある児童(20歳未満)を養育している人(世帯の所得制限あり)

手当の月額 1級：4万9,900円
2級：3万3,230円

○特別障害者手当

対象 最重度の障がいがあるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の20歳以上の人(世帯の所得制限あり)

手当の月額 2万6,000円

○障害児福祉手当

対象 重度の障がいがあるため、日常生活において常時介護を必要とする在宅の20歳未満の人(世帯の所得制限あり)

手当の月額 1万4,140円

○在宅心身障害児福祉手当

対象 身体障害者手帳のおおむね1級～3級、または療育手帳④・A・B程度の障がいのある児童(20歳未満)を養育している人

手当の月額 3,000円

※障害児福祉手当との併給はできません。



その他のサービス

○運転免許取得費用の補助

対象 身体障害者手帳1級～4級の所持者で、就労等のため運転免許を取得する人

内容 10万円を限度として、取得費用の3分の2以内

○自動車改造費用の補助

対象 身体障害者手帳1級・2級の上肢、下肢もしくは体幹機能障害で就労等のため自分で運転する人

内容 手動装置、左足用アクセル、足踏式方向指示器、右駐車ブレーキレバー、足動装置等の改造等の費用

限度額 10万円

○重度障害者(児)住宅リフォーム助成制度

対象 身体障害者手帳1級・2級の下肢もしくは体幹機能障害、または療育手帳④を所持している人

内容 住宅内外における移動を容易にするための住宅改修費として、35万円を限度額に経費の4分の3を助成します

○有料道路通行料金割引

○NHK放送受信料の減免

○身障者等用駐車場利用証の交付

などがあります

各種制度・サービスを受けたい場合

障がい福祉課(総和福祉センター「健康の駅」内)、市民サービス課(総和庁舎)または市民サービス室(古河庁舎・三和庁舎)に事前に申請、ご相談ください。
※障がいのある人の状況によっては対象とならない場合があります。詳しくは問い合わせください。





古河市障がい者相談支援事業



市では、障がいのある人やその家族を対象に、日常生活上や福祉サービス全般について、相談を受け付けています。専門的な知識を持った相談支援事業所等の職員が無料で相談に応じます。お気軽にご相談ください。

●相談できる人は？

市内在住の身体障がい・知的障がい・精神障がい(発達障がい・高次脳機能障がいを含む)・難病等のある人が対象です。本人、家族、関係者が相談できます。

●どのようなことを相談できますか？

各種福祉サービスの案内、情報提供、権利擁護のための必要な支援、日常生活上の不安や悩み・心配ごとなど、生活全般について幅広く相談を受け付けています。

次の相談支援センター等で相談できます。まずは、電話等で問い合わせください。

相談支援センター等	所在地	連絡先	利用時間
① 【古河市基幹相談支援センター】 青嵐荘つくし園相談支援事業所	上大野2290-1	☎ 23-1161 FAX 23-1162	年中無休 午前8時30分～午後5時30分 ※夜間・休日の緊急時は電話で対応。
② 【古河市地域相談支援センター】 あじさい学園相談支援事業所	鴻巣1179	☎ 48-0431 FAX 48-0433	月曜日～金曜日 午前8時～午後5時
③ 【古河市地域相談支援センター】 まくらかの里どんぐり	上大野1943-11	☎ 97-1123 FAX 98-0220	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
④ 【古河市地域相談支援センター】 ライフサポートセンターネーブル	下大野736-8	☎ 91-0150 FAX 91-0152	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分
⑤ 【地域活動支援センター】 地域活動支援センター煌(きらめき) ※精神障がいのある人のみ。	坂東市沓掛411-1	☎ 0297-30-3071 FAX 0297-30-3072	月曜日～土曜日 午前9時～午後5時 ※日曜日・祝日、12/30～1/3は休館。
⑥ 古河市役所障がい福祉課 (総和福祉センター「健康の駅」内)	駒羽根1501	☎ 92-4919 FAX 92-5544	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時
②③④⑥施設の休館日：土曜日・日曜日・祝日、12/29～1/3			

障がいのある人を 虐待から守りましょう！

障がい者虐待に気づいた人には、市の担当窓口へ通報する義務があります。地域ぐるみの早めの対応や支援が、虐待された障がいのある人だけでなく、虐待している家族などが抱える問題の解決にもつながります。ご協力をお願いします。

古河市障害者虐待防止センター (市役所障がい福祉課内)

電話番号 ☎0120-063801
(フリーダイヤル)

ファクシミリ FAX92-5544

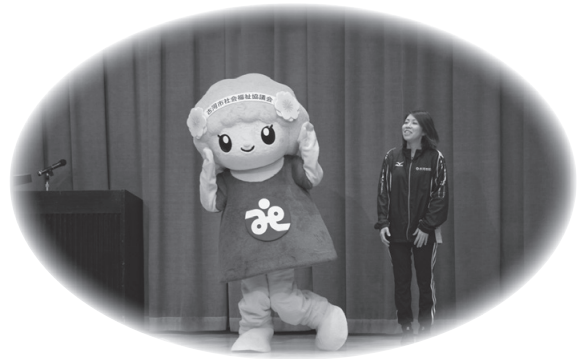
※24時間365日対応しています。
※夜間・休日は、委託先の社会福祉法人芳香会青嵐荘つくし園相談支援事業所へ転送されます。



Koga障がい者フォーラム2014 & 第3回古河市社会福祉大会



▲活気に満ちあふれる「よさこい」で会場は盛り上がっていました



▲古河市社会福祉協議会のマスコットキャラクター「ももちゃん」



▲「あきらめない心」をテーマに、自身の歩んできた人生について話す佐野有美さん

11月9日、とねミドリ館(生涯学習センター総和)で「Koga障がい者フォーラム2014～共に生きるまちをめざして～」が開催されました。

このイベントは、市民一人ひとりが障がいや障がいのある人に対する理解を深め、障がいのある人が心豊かに安心して暮らせるまちづくりを目的として昨年度から行われているもので、今年は「第3回古河市社会福祉大会」との同時開催となりました。

記念講演の講師は、高校時代にチアリーディング部に所属して注目を集めた佐野有美さん。先天性四肢欠損症で生まれ、両腕と右足がない障がいを持ちながらも『特別じゃない、普通の女の子』として歩む佐野さんの講演に、来場者は穏やかに聞き入っていました。

また、古河市社会福祉協議会マスコットキャラクター「ももちゃん」の紹介や、作品展、ステージ発表など数多くの催しが開かれ、多くの人でにぎわいました。

誰もが心豊かに安心して暮らせる街へ



▲和太鼓の音色が会場に響き渡りました

ご存じですか？

シルバーリハビリ体操

冬は寒さのため、活動量や外出が減り運動不足になりがちです。みなさん、体を動かしていますか？

運動することで、血液循環が良くなり体が温まります。筋力の低下を防ぐことは転倒予防にもつながります。また、ストレス解消やリラックス効果もあり、元気に生活するには『運動習慣』が欠かせません。

市では、高齢者のみなさんが運動習慣を身につけ、楽しく継続できるよう、介護予防のための体操「シルバーリハビリ体操」を推進しています。

【問】 高齢福祉課(総和福祉センター「健康の駅」内)
☎92-5838



シルバーリハビリ 体操とは

シルバーリハビリ体操は、関節の動く範囲を広げたり筋力をつけたりして、高齢者の介護予防を推進するため茨城県で考案した体操です。道具を使わずに「いつでも、どこでも、一人でも」気軽に取り組むことができます。1日に1ミリメートルでも関節が動くように、1グラムでも力をつけるつもりで行うことが大切です。

【肩こり予防】 ～肩と腕の運動～



両手を組んで背筋を伸ばす。



両腕を頭上に上げ、十分に伸ばす。



肘を後ろへ引き、胸を張る。

大胸筋を
ストレッチ

ポイント

両腕を上げる動作のときは、なるべく肘を耳に近づけて、まっすぐ腕を伸ばします。

シルバーリハビリ体操の一部を紹介しましょう。自宅で実践してみましよう。



【転倒予防】 ～ももを上げる力をつける運動～



ゆっくり左右へ体をひねる。



ポイント

背筋を伸ばした姿勢で、膝を上げて肘に近づけます。右肘と左膝・左肘と右膝、交互に行います。

身近なところで参加できます

シルバーリハビリ体操教室は、市内公共施設10カ所のほか各地域の公民館や会議所などでも開催しています。お気軽にご参加ください。

●開催場所

地区	開催場所
古河地区	古河福祉の森会館、古河東公民館 はなももプラザ(地域交流センター) 中田公民館
総和地区	総和福祉センター「健康の駅」 つつみ公民館、ユースセンター総和
三和地区	三和公民館(三和庁舎3階) 三和農村環境改善センター 三和地域福祉センター

●開催時間 午前10時～11時30分
※ただし、中田公民館のみ午後1時30分～3時。

月2回の参加を 楽しみにしています



寺本あい子さん(久能)

4年前から体操教室に参加し、肩こりがなくなり、握力がつきました。運動を続け、体が楽になったと感じています。月2回の参加でお友達と会えるのも楽しみのひとつです。

こんにちは！ 私たちは「シルバーリハビリ 体操指導士」です

茨城県では、シルバーリハビリ体操の普及を進めており、この体操を地域住民へ指導・普及するボランティアとして「シルバーリハビリ体操指導士」の養成を行っています。

シルバーリハビリ体操指導士は、高齢者の身体状況、介護予防などについて総合的に学び、効果的な体操の仕方や体操時の注意などを修得し、認定資格を得ています。

市には現在87人の指導士が、高齢者の介護予防を推進するためボランティアで活動しています。

※平成27年1月から市内でシルバーリハビリ3級養成講習会を開催します。詳しくは「広報古河お知らせページ12月1日号」をご覧ください。



古河ブロックの体操指導士



総和ブロックの体操指導士



三和ブロックの体操指導士





「人権」とは、人が人らしく生きていくために社会によって認められている権利であり、誰もが生まれながらにして持っている、侵されることのない基本的権利です。しかし、依然として社会生活におけるさまざまな場面で、不当な差別や人権侵害の問題が存在しています。

市では、すべての市民が互いの人権を尊重しあい、共に生きる社会を実現するために「古河市人権教育推進計画」を策定し、学校教育と社会教育の両面から、計画的に人権教育を推進しています。

【問】生涯学習課、指導課(古河庁舎)

☎22-5111

学校教育

市内の全小中学校では、教育活動全体を通じて、人権感覚や人権意識を育む人権教育を、児童生徒の発達段階に応じて実施しています。また、教職員向けの研修会や保護者への啓発を併せて行っています。

- 人権教育研修会
- 人権教育推進訪問
- 人権週間における取り組み(人権集会など)



▲「人権教育研修会」は、事例発表を交えた教員向けの研修です

社会教育

市民向けの講演会・研修会・生涯学習講座や、市職員やPTA等を対象とした研修会を開催しています。さまざまな学習機会を通じて、人権問題に関する正しい認識を深めるとともに、それぞれの学習者に合った事業を企画・実施しています。



- 人権教育講演会
- 人権リーダー育成講座
- 人権について考える会
- PTAや家庭教育学級生(保護者)向けの研修会、学習会の支援
- 人権啓発リーフレット作成、全戸配布
- 人権ビデオ・DVDの貸し出し



◀「人権について考える会」では、小・中学生の作文発表も行われます

平沢保治さんが六小で講演



10月23日、学校での人権教育の一環として、古河第六小学校で5・6年生約190人を対象に、平沢保治さんによる講演会が行われました。

古河市出身の平沢さんは14歳のときにハンセン病と診断され、東京都東村山市にある国立療養所・多磨全生園に入園しました。

患者を強制隔離する政策によって生まれた、ハンセン病に対する誤解や差別。87歳の平沢さんは、ハンセン病への正しい理解を広めるため全国各地を回っています。

「夢と希望を持ち、ありがとうを言える人になりなさい」「恨みを恨みで返してはなりません」。力のこもった言葉に子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。

秋の叙勲

旭日双光章



印出 和夫さん
(73歳、上辺見)
元古河市議

瑞宝双光章



佐賀 哲さん
(87歳、長谷町)
元学校医

高齢者叙勲

瑞宝単光章



知久 京子さん
(88歳、南町)
元民生・児童委員

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



相馬 信行さん
(65歳、中田)
元東京消防庁消防正監

瑞宝双光章



根岸 寛次さん
(66歳、鴻巣)
元茨城西南地方広域
市町村圏事務組合消防監

瑞宝単光章



船橋 二三夫さん
(77歳、常盤町)
元茨城西南地方広域
市町村圏事務組合消防司令長

秋の褒章

藍綬褒章



田中 義枝さん
(76歳、女沼)
元民生・児童委員

茨城県表彰

功績者表彰



阿部 孝行さん
(73歳、駒羽根)
元古河市工業会長



注目!

まちの話題

古河二高が
創立100周年を迎えました

10月12日、古河第二高等学校の創立100周年を祝う記念式典が同校体育館で盛大に行われました。式典には多数の来賓や在校生など約1,000人が列席。これまで築いてきた100年の重みをかみしめるとともに、今後の更なる発展を誓いました。式典後には宮本延春^{みやもとのぶはる}さんの記念講演と、卒業生であるソプラノ歌手・齊藤京子^{さいとうきょうこ}さんのミニコンサートが行われ、記念式典に華を添えていました。

1914(大正3)年、古河町立女子技芸学校^{ながいのみちこ}として開校。作家の永井路子^{ながいみちこ}さんなど、2万1,000人を超える卒業生を送り出しています。



▲来賓や同窓生、在校生、教職員など約1,000人が集まり、盛大に行われた記念式典

自然を守ろう！ 利根川クリーン作戦



▲皆様のご協力できれいになりました

11月1日、地元企業2社の協賛のもと「2014 利根川クリーン作戦」が行われました。あいにくの雨にもかかわらず、早朝から行政区や自治会、地元企業、建設業協会など584人が参加し、利根川堤防や女沼川の河川付近のごみを拾い歩きました。

集まったごみは、空き缶やペットボトル、紙くずなど約320kg。雨の降るなか互いに協力し合っきれいにしていました。

身近にあるかけがえのない自然。これからも、私たちの手で守っていきましょう。

銘柄作物をPR ～古河市のバラとサニーレタス～



▲橋本知事を訪問した市銘柄産地推進協議会会員

10月27日、市の銘柄作物をPRするため、生産者やJA等関係機関で構成する市銘柄産地推進協議会の会員が、茨城県知事を表敬訪問しました。

今回PRしたのは、県花でもある「バラ」と、まさに旬を迎えた「サニーレタス」。これらの作物について、古河市は県の銘柄産地に指定されています。

会員の皆さんは「贈り物には鮮度の高い古河のバラを」「サニーレタスはサラダに最適」とアピールしました。

合言葉は「あらしのよるに」
～きむらゆういち氏講演会～



▲絵本・童話の魅力を伝えるきむらさん

10月28日、仁連小学校で絵本・童話作家のきむらゆういちさんによる講演会が行われ、全校児童や保護者など約300人が、ユーモアたっぷりの講話に聞き入っていました。

『あらしのよるに』をはじめ多数の作品を手掛けるきむらさん。「本にはさまざまな主人公が登場します。それぞれの気持ちになって読んでほしい」と想像を巡らせながら読むことの大切さを訴えていました。

今月の料理

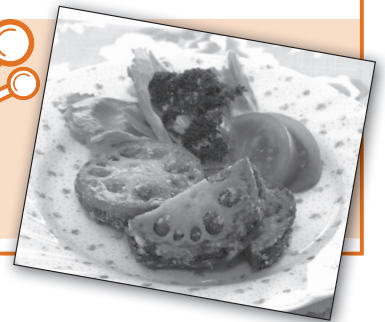
レンコンカレー風味
はさみ揚げ<高血圧予防食>



- ①鶏ひき肉160g、ショウガ2片(すりおろし)、みじん切りにした長ネギ20g、塩小さじ1/2、こしょう少々、カレー粉小さじ2、かたくり粉大さじ2を合わせて、粘り気がでるまで混ぜる。
 - ②レンコンは5mmの輪切りにし、酢水にさらす。
 - ③水気をしっかり拭き取り、レンコン2枚の間に①をはさみ、ぎゅっとおさえる。表面に、かたくり粉を薄くまぶす。
 - ④170℃の揚げ油で薄く色づくまで揚げ、ポン酢をかける。
- <4人分>

(1人分)

エネルギー=271kcal
タンパク質=10.4g
脂質=13.8g
カルシウム=30mg
食塩相当量=1.5g



(食生活改善推進協議会)

日々奮闘!



子育てアドバイス

冬のスキンケア



近年、子どもの肌トラブルが増えています。夏は冷房で涼しく、冬は暖房で暖かい快適な環境で過ごすため、体温調節がうまくいかず、皮膚の乾燥や肌あれをおこしてしまふことが多いようです。皮膚が乾燥すると、かゆさで遊びに集中できなくなることもあります。肌トラブルを改善するために、次のことに気をつけましょう。

- 体を動かして代謝を高める**
体の内側から熱が発生する活動的な遊びを取り入れるなどして、新陳代謝を高めましょう。
- 手洗いはしっかりと手を拭く**
ぬれたままで放置しておくと、指の間に湿疹がでやすくなります。手洗いの後はしっかりと手を拭くようにしましょう。小さいお子さんは、保護者がしっかりと拭き取ってあげましょう。

- 「薄着」で体温調節**
薄着のほうが皮膚を鍛えられます。大人より1枚少なくして、肌を丈夫にしましょう。その際、衣類も通気性の良いものを選びましょう。
- 部屋の湿度は50〜60%を目安に**
暖房などで乾燥しすぎないように加湿器を上手に利用して湿度を50〜60%に維持しましょう。湿度計は子どもの背の高さに設置しましょう。
- 毎日入浴しましょう**
冬でも毎日入浴して汚れを落としましょう。湯船に十分につかると皮膚の中に水分を保てます。入浴後に保湿クリームを塗るのも効果的です。

冬は、大人でもスキンケアが欠かせない時期。個々の症状に合った適切なスキンケアで、子どもの肌をしっかりと守ってあげましょう。

第二保育所

キラッ! 輝く人たち

古河の時代の移ろいをカメラのファインダー越しに見てきた鈴木路雄さん。これまで『古河の風景』『スケッチブック』2冊の写真集を発行しました。生まれも育ちも古河という鈴木さんに、写真を始めたきっかけ、そして、撮影テーマを「古河にこだわる」理由やその魅力についてお聞きしました。

父からのプレゼント

鈴木さんは、昭和11(1936)年生まれの77歳。父親が自分のためにカメラを買ってきてくれたのが、終戦翌年の小学5年生のときでした。「戦後、誰もが生きるために必死だった時代。私を含め三人の子どもを育てるために懸命に働く父の背中をみてきた」と当時を振り返ります。そんな父親からのプレゼントは、手のひらにのるくらい小さなマイクロカメラ。「嬉しくて、それがカメラに興味をもったきっかけだった」と話します。

その後も、写真への探求心は冷めることなく、木村伊兵衛、土門拳など偉大な写真家の影響を受けて、独学で写真の勉強を続けました。「20歳のころ、報道写真の道へ進みたいと真剣に考えていたんですよ。でも体を壊してしまっただけ」と、志半ばでカメラを断念した悔しさをにじませました。

昭和30年前後の古河の姿

ある日、昔撮った作品をまとめたたいと考え、(旧古河)市制55周年と市町村合併、戦後60年という節目の平成17年に写真集『古河の風景』を発行しました。昭和31年～32年に撮影した渡良瀬川や四季折々の祭り、何気ない古河の日常生活が記録されています。

「古河をさまよひ、被写体を探していた20歳のころの作品。半世紀でまったく世の中が変わったということが良く分かりますよ」と話す鈴木さんの言うとおりに、当時の町中の移動手段は、徒歩や自転車。時間がゆったりと流れていたのが写真を通してわかります。日

「心に刻む古河の風景」

鈴木 ^{みちお}路雄さん
(77歳・横山町)



本が高度経済成長期に入る手前の古河の姿をとらえた、後世に残る貴重な作品となっています。

カメラが、人と人を繋いでいく

鈴木さんは先月11月19日～22日にスペースU古河で、写真展『未来に残したい記録古河の店・人100選』を開催しました。

「私がこだわっているのはドキュメント。日常生活の中にある生きざまを撮りたいと思い、古河の商店、経営者を3年かけて撮影しました。まず、取材にお伺いしたときは、お話を聞くのに多くの時間を費やし、撮るのは一瞬です。心を許して、リラックスした表情を見せてくれるのが嬉しいですね」と話す鈴木さん。

今後も、古河の商店・経営者を撮り続けたいと、日々の暮らしのなかで出会う人々をカメラで撮影し続けます。



◀温もりのあるモノクロ作品が訪れた人たちの心を癒す

図書館のオススメ

◇一般書

・神様が宿る家 3

澤田 升男 著

オリジナル工法「ダブル断熱」などを提供し、全国に「神様が宿る家」を造り続ける著者が、「本物」の家の造り方や、それを造れるようになった心のあり方を説き、「医学的に認められた住宅」について語る。シリーズ第3弾。

出版社…ザメディアジョン

分類…527サ

◇新書

・日本ミステリー小説史

堀 啓子 著

なぜ日本はミステリー大国になったのか？ 日本でのミステリー小説が、いつ誕生し、どのような人々の力を得て、いかな

るかたちを追求し進化してきたのかを主眼に述べる。

出版社…中央公論新社

分類…S910ホ



三和図書館

◇児童書

・いのちの花

綾野 まさる 作

殺処分された犬が事業系廃棄物として処分されているという現実にショックを受けた女子高生たちが考えた「いのちの花プロジェクト」。処分された犬の骨を土に入れて花を育てるこの活動を、実話をもとに物語化して伝える。

出版社…ハート出版

分類…645ア

◇絵本

・じつはよるのほんだなは

澤野 秋文 作

夜の本棚を見たことがありますか？ 実は、本から挿絵の動物や登場人物が飛びだして大騒ぎ。見張りの犬張子の「こたろう」が居眠りをしてしまったので、自分の本に戻らない挿絵がいて……。さがし絵も多数掲載。

出版社…講談社

分類…Eサ

注目 企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～

「心から、みんなを笑顔にしたい」

Y-SOUL HAIR STUDIO 勤務 小菅 洋子さん

小学生の頃から、人をきれいにしたり笑顔にしたりする仕事に興味があったという小菅さん。1年ほど都内の美容室で働いていましたが、一から学び直したいとの思いから、現在の美容室に就職しました。今はアシスタントとして、シャンプーやカラーリングを担当しています。

「指先まで心を込めて洗髪しています。シャンプーの好みや加減はお客様によってさまざま。細やかな気遣いや密なコミュニケーションを心掛けています」と話す小菅さん。体力勝負の日々に奮闘しながらも、スタイリストを目指し、閉店後はカットの練習に励むなど、ひた向きの努力を重ねています。

明るくて気さくな小菅さん。一人暮らし

を経て地元に戻ってきた今、家族や友人の存在の大きさを感じています。「支えてくれた人たちに恩返しをしたい。これからは私がみんなを笑顔にしたい。その思いが、仕事の原動力になっています」と話してくれました。

感謝の気持ちと情熱を胸に、今日も一日、笑顔が弾けます。

■プロフィール

入社2年目。休日は買い物や映画鑑賞に行ったり、愛犬の散歩をしたりして過ごしています。

24歳・尾崎在住。



古河文化見聞録

年末年始に迎える病の神

そしてまた来年の年末にね

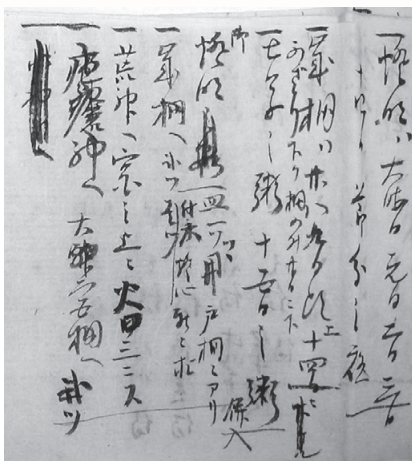
正月に迎える病の神様

なんだか、お世話になりたくないものをお迎えする。それも、年末年始に。

いろいろなお宅の古い年中行事を記録した資料を拝見していると、お正月のお供え餅を、病をつかさどる神のために用意している記述を見ることができます。

たとえば、仁連のSさんのお宅では、年徳神・大神宮に大、仏前に中、えびす・大黒・をか神・荒神・馬屋に小とならんで、疱瘡神に極小のお供え餅を、それぞれ紙を敷いて元日から5日まで、あるいは7日まで朝上げて、夕方さげていたと。病をもたらす疱瘡神を正月の神様とともに迎え、極小とはいえお供え餅をついて、丁重にもてなしていたのである。

ここで登場する疱瘡(天然痘)は、昭和55(1980)年、WHO(世界保健機関)の天然痘根絶宣言までは、わたしたちの先祖たちにとって、感染性の強い病として恐れられていたものです。



▲正月にまつる疱瘡神(「経済録」河口家歴史資料より)

一夜を乞う病の神とその姿

わたしたちは、古くから、こういった目に見えない病をつかさどるものに、「疱瘡神」「疫神」「鬼」などと名付けて、さらに具体的な姿まで思い描きます。

平成13年に開催した『病よ去れ 一悪疫と呪術と医術一』では、そのような病の神々について、いくつかの例を紹介しました。たとえば、栗原幸十郎というひとが書いた『古今雑談思出草紙』には、江戸の国府津安平という侍の家では、その先祖が美少年(あるいは美少女)の姿をした疱瘡神を大晦日の晩に泊めたと。疱瘡神はその後、国府津家だけは疱瘡にかからない配慮をしたのだという。

美しく、そして律儀な疱瘡神。また、百井塘雨というひとがまとめた『笈埃随筆』には、「疫鬼」としてその姿は、年齢80歳ばかり、青ざめた顔、やせ衰えた姿、白髪振り乱し、白髭がたれている姿は、世に言う「貧乏神」であるとしている。年はそれほどではないが、寝起きの鏡を見ているような。

そのほか、僧侶や女性、さまざまな姿で疱瘡神・疫神は語られます。本来見えないはずの病の正体をわざわざビジュアル化し、個性までを持たせたのは、わたしたちがその行動を、なんとかコントロールしようと考えていたのでしょう。

山形で出会ったカゼの神

ところでこんな、なにやら怪しい神を迎え入れて正月を迎えるのは、特別というわけではなかったようです。



▲鬼のような姿の疱瘡神(「阿蘭陀白牝牛接痘渡来記」河口家歴史資料より)

たとえば、諸川のNさんの家の資料にも、年徳神・天照大神・えびす・荒神・お風呂・おかま(竈)・天神・毘沙門・そうぜん(馬屋)のほか、疾神(原文のまま「疫神」か)・疱瘡神にしめ縄を用意し、お供え餅を供えるとあります。

そうかといえば、大晦日に悪しき神を迎えて、その日のうちに帰ってもらう家もあります。今年9月、山形市内のあるお宅を訪ねて、蔵の中に入れていただきました。遠慮を知らない不作法なわたくしは、蔵を拝見したあと通されるがまま、ずけずけと座敷まで。それも御菓子までご馳走になって。その折り、長押しにしたら年徳神の棚に目がとまり、正月に迎える神様に話題が及びました。すると、ご主人がおっしゃることは、「うちは大晦日の夜に羽州街道の辻まで、カゼの神を迎えてきて座敷に招き、家族全員と食事をとるのです」と。以前は提灯を持って男衆が出向き、女衆が玄関で出迎える。座敷には家族全員に加え、カゼの神のための食事が膳でもうけられる。正面上座に主人とカゼの神、家族は向かい合わせで食事をとる。食事を終えると、すぐに辻まで送り出すのだという。これは、提灯が懐中電灯にはなったが、続けているのだという。

さきに紹介した国府津安平の疱瘡神をもてなした話ではないですが、こうして饗応してあげれば、この家だけは翌年も風邪を流行らせることなく、やすらかに過ごせるよう、カゼの神は配慮してくれるのでしょうか。

病の神への饗応と説話

こんなカゼの神や疱瘡神をもてなして病を避ける話。それは『古事記』にも登場する、荒ぶる神をもてなして、邪悪なものから身を守る方法を授かるという蘇民将来の話などを、きっと引き継いだものなのでしょう。そして今なお伝統行事として続く山形のカゼの神迎えは、毎年これを行うことで、より具現化した効果を得られると信じてきた。すなわち、わたしたちの神話時代からの願いがこめられたものなのでしょう。ちなみにその山形のお宅の知り合いの家では、貧乏神を迎えて饗応しているのだという。

どうでもいいことですが、こんなことを調べているわたくしの家からは、まったく饗応していないためか、貧乏神はなかなか帰ってくれないようです。

古河歴史博物館学芸員 立石尚之



▲疱瘡神をまつる石搭(小堤)

今年も寒い季節になりました。この時期になると「ノロウイルス」の言葉をニュースなどで耳にすることが増えてきますね。

ノロウイルスは感染性胃腸炎の原因となるウイルスで、寒い時期に多く発生します。

ノロウイルスの症状

吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などの症状が1日～2日続きます。その後は症状は治まり、快方へ向かいます。感染しても症状がない場合や軽い風邪のような症状のときもあります。症状がなくなっても、数日から1カ月間はウイルスが便とともに排泄されるので注意が必要です。

●感染経路

- ①ノロウイルスに汚染された食品や、ウイルスが蓄積した二枚貝などを加熱不十分で食べて感染します。
- ②感染した人の糞便や嘔吐物を介して感染します。

●潜伏期間

感染してから約12～48時間で発症します。

症状が出たら

ノロウイルスには予防ワクチンはなく、抗生剤も効果がありません。嘔吐や下痢が続くときは、脱水しないようにスポーツ飲料や経口補水液等で水分補給を心がけましょう。

特に、子どもや高齢者は重

症になりやすいので、嘔吐や下痢が続き、ぐったりしている場合はすぐに医療機関を受診しましょう。

感染を広げないために大切なこと

●手洗いは感染予防の基本です。しっかりと手を洗きましょう

・外出後、トイレに行った後、調理や食事の前、嘔吐物やおむつなどの処理をした後は必ず石鹸で手を洗きましょう。

・石鹸をつけて手指や手首等、すみずみまでこすり洗いやねじり洗いをし、水で洗い流すことで、ウイルスは大幅に減少します。30秒はしっかりと洗きましょう。指先や爪の間、手のしわは特に注意して洗うことが大切です。

●嘔吐物などの処理は正しく行いましょう

・処理を行うときは部屋の窓を開けて、換気をしましょう。
・処理をする人は使い捨ての

手袋、マスク、エプロンを着用しましょう。

・嘔吐物などは次亜塩素酸ナトリウム濃度0.1%(1,000ppm)の塩素系消毒液に浸した新聞紙やペーパータオル等で外側から内側に向かって静かに拭き取ります。同じ面ですらないようにしましょう。

・使用したペーパータオル等は、すぐにビニール袋に入れて口をしっかりと縛り、袋を二重にして密閉してから処分しましょう。

・処理をした後はしっかりと手洗い、うがいをしましょう。

●嘔吐物が衣類等に付着してしまったら、他のものと分けて消毒しましょう

・汚物が衣類に付着したら、85℃で1分間以上熱湯消毒するか、次亜塩素酸ナトリウム濃度0.02%(200ppm)の塩素系消毒液で消毒します。

・食器類は食後すぐ、塩素系消毒液に浸し消毒します。

健康づくり課

家庭での消毒液の作り方

【嘔吐物・糞便等の処理(1,000ppm)】家庭用の塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム濃度6%)の原液50ミリリットルを水3リットルに加えます。

【衣類・食器等の消毒(200ppm)】家庭用の塩素系漂白剤の原液10ミリリットルを水3リットルに加えます。

※消毒液を作る際は手袋を着用する。使用時に有毒ガスが発生することがあるので十分換気してください。製品ごとに濃度が異なります。表示を確認し、使用上の注意をよく読んでください。

《参考》茨城県ホームページ「いばらきの感染症情報」

憩いのパークの魅力

研修センター平成館



季節の移ろいととも、ネーブルパークも空気が澄みきって冬の装いに変わってきました。春から秋までのにぎわいがまるで夢のような落ち着いた雰囲気を感じ出しています。今回はそんな冬のネーブルパークのもう一つの楽しみ方を紹介します。

ネーブルパークには、宿泊施設としてキャビンのほかに「研修センター平成館」があります。「研修センター」という名前から少し堅いイメージを受けますが、研修に限らず、おひとりでの宿泊も利用できる施設です。平成館周辺の景観は公園の四季そのもので、特にレストランからの眺めは季節ごとの彩りを楽しませてくれています。

平成館では、冬のお楽しみ企画として例年好評をいただいている、期間限定宿泊パック「つどい」を来年2月末日まで実施します。1泊2食付(夕食時に飲み物1本サービス)大人1人5,900円と大変お得なパックとなっています。

今年は、平成館でお泊りの忘年会や新年会はいかがで

しょうか？ この機会に、皆さんもネーブルパークの新しい楽しみ方を体験してみてください。皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

期間限定宿泊パック 「つどい」

場所 研修センター「平成館」
(ネーブルパーク内)

利用期間 12月1日～平成27年2月28日泊

※ただし、年末年始(12月27日～平成27年1月4日)を除く。

利用料 大人1人5,900円
※小・中学生、幼児も別途承ります。予約は下記へ問い合わせください。

【問】ネーブルパーク研修センター「平成館」

☎91-2080



▲公園の四季を感じられるレストラン「木立」

表紙写真



11月8日に中央運動公園で行われた「ECOフェスタ」で撮影した一枚です。参加した小学生は、古河総合公園内の雑木林の手入れや動植物の保護を行っている市民団体「もりもりクラブ」の代表、川田いつ子さんの説明を熱心に聞き入っていました。

古河総合公園内には貴重な植物や野鳥が生息しています。もりもりクラブの皆さんは「四季を楽しめる公園を未来へ受け継ぎたい」と、古河の歴史や自然、里山の管理などを楽しく学びながら活動しています。

寄付



メモリアルホールわたらせチャリティゴルフ大会より収益金10万円の寄付。

古河市データ

人口



(11月1日現在) 住民基本台帳から
総人口… 145,359人 (+ 82)
男……………73,064人 (+ 76)
女……………72,295人 (+ 6)
世帯数…58,198世帯 (+167)
() 内は前月比



わが家のアイドル



「わが家のアイドル」コーナーに、たくさんの応募ありがとうございます。
今月は、元気でかわいい「古河っ子」を大特集。すくすく大きくな～あれ。



かいり
松崎海莉くん (1歳3カ月・女沼)

ヤンチャで皆を笑顔にしてくれるカイリ。最近はお手伝いしてくれるけど、うまくいなくて失敗することもあるよね。でも、優しく成長して嬉しうよ。これからもパパとママの自慢のカイリでいてね♥ (父：賢司、母：和美)



あかり
山中明花莉ちゃん (9カ月・大堤)

つかまり立ちが上手になって、何でも手に取っては興味津々で遊んでいる姿がほほ笑ましく思えます。食欲も旺盛で、抱っこも重たくなりました。たくさん食べて、たくさん遊んで、大きくなってね。(父：康弘、母：恵美)



しかの なつき
鹿野夏樹くん (1歳3カ月・大山)

とっても好奇心旺盛な、なっちゃん。歩くのも上手になってきたね。元気に遊んでいっぱいご飯を食べて、すくすくと成長してね！ これからも、たくさんの笑顔をみせてね♪ (父：達也、母：幸恵)



たかみつ
野口貴光くん (10カ月・西牛谷)

パパのくだらないギャグにニッコリ笑ってくれる貴光くん。その無邪気な笑顔にいつも癒されています。私たちの息子として生まれてくれてありがとう。これからもいっぱい笑って、すくすく育ててね。(父：勝美、母：直美)

平成26年12月1日発行

●発行所／〒306-0291 茨城県古河市下大野2248 古河市役所
●編集／秘書広報課 ●ホームページ／<http://www.city.furukawa.lg.jp/> ☎0280923111